

日本風工学会報告会「平成 18 年 9 月台風 13 号強風被害と 11 月佐呂間竜巻被害」

平成 18 年 9 月 17 日台風 13 号は長崎県に上陸し、九州・沖縄各地で強風被害を発生させました。とくに宮崎県延岡市では台風の接近に伴って竜巻が発生し、竜巻による強風や飛来物により死者 3 名・負傷者 143 名、全壊 71 世帯を含む約 1000 世帯で被害が発生しました。また、11 月 7 日には北海道佐呂間町で竜巻が発生し、死者 9 名・負傷者 26 名に加え、100 世帯に及ぶ被害が発生しました。この竜巻はわが国で発生した竜巻被害としては最大級のものと考えられます。

日本風工学会では両方の被害について、被害発生直後から現地調査を開始し強風被害の実態を調査してきました。本報告会では、台風 13 号の強風被害および佐呂間町の竜巻被害に関して、その気象状況・被害の実態・被害の特徴等について報告いたします。

日 時：平成 18 年 12 月 18 日（月）13:20 - 17:20

場 所：日本大学理工学部駿河台校舎 1 号館 6 階 C S T ホール

<http://www.cst.nihon-u.ac.jp/map/suru.html>

参 加 費：無料（先着 200 名）

プログラム：

12:30 会場案内

セッション 1：台風 13 号 司会：野村卓史（日本風工学会風災害研究会主査・日本大学）

13:20-13:25 主旨説明 田村幸雄（日本風工学会長・東京工芸大学）

13:25-13:40 台風 13 号の気象状況 鈴木 修（気象研究所）

13:40-13:55 NeWMeK による気象観測と臼杵市での被害 前田潤滋（九州大学）・友清衣利子

13:55-14:10 先島諸島での被害状況 筆保弘徳（海洋研究開発機構）・林 泰一・

丸山 敬・一柳錦平

14:10-14:25 九州地方での被害状況 中村雅紀（損害保険料率算出機構）

14:25-14:40 休憩

セッション 2：延岡竜巻 司会：長尾文明（日本風工学会風災害研究会幹事・徳島大学）

14:40-14:55 延岡竜巻被害の空中写真 向山 栄（国際航業）

14:55-15:10 宮崎県内の強風被害と延岡竜巻被害の全容 宮城弘守（宮崎大学）・菊川裕規・松井正宏・

曹 曙陽・田村幸雄

15:10-15:25 延岡市の復旧対応 野々下博司（延岡市）

15:25-15:40 質疑応答

15:40-15:55 休憩

セッション3：佐呂間竜巻 司会：奥田泰雄（日本風工学会風災害研究会幹事・建築研究所）

15:55-16:10	佐呂間竜巻発生時の気象状況	鈴木 修（前掲）
16:10-16:25	佐呂間竜巻被害の空中写真	小林文明（防衛大学校）
16:25-16:40	佐呂間竜巻の被害状況	曹 曙陽（東京工芸大学）
16:40-16:55	飛来物による外装材の被害	丸山 敬（京都大学）・喜々津仁密
16:55-17:10	質疑応答	
17:10-17:20	まとめ	野村卓史（前掲）

参加を希望される方は、以下の参加申込書にて風災害研究会主査野村卓史までご連絡下さい。
なお、日本風工学会会員でない方でも参加できます。

++++++参加申込書++++++

平成18年12月18日（月）に開催される日本風工学会報告会に参加します。

ご氏名：

ご所属：

++++++

問い合わせ：日本風工学会風災害研究会 主査：野村卓史

mail: nomura@civil.cst.nihon-u.ac.jp

Fax: 03-3259-0411